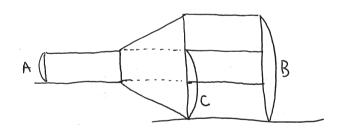


近藤智 IPMUIDD

無限グラスマン多様体は、多様体の上のベクトル束を表現し ます。ホモトピー圏においては位相的K理論を表現します。こ れは代数多様体でも同様です。アフィン直線が可縮であると いう条件と、二スネヴィッチ位相を使って定義されるモチビ ックホモトピー圏において、代数的な無限グラスマン多様体 は、(ホモトピー不変な)代数的K理論を表現することが知ら れています。

ヘックトル束のなす完全圏のQ構成に おける射 A -> B とは、四式 A 《 C > i > B の同型類のこと。 (A,B,Cはベクトル東、iは許容学軒、gは許を全年.)



IPMU News No. 14 June 2011

発行

©Institute for the Physics and Mathematics of the Universe, 2010 All right reserved

Published by Institute for the Physics and Mathematics of the Universe

Todai Institutes for Advanced Study

The University of Tokyo

5-1-5 Kashiwanoha, Kashiwa, Chiba pref., 277-8583, Japan phone: +81-4-7136-4940 fax: +81-4-7136-4941

東京大学国際高等研究所 数物連携宇宙研究機構

千葉県柏市柏の葉5-1-5 〒277-8583

電話:04-7136-4940 ファックス:04-7136-4941

http://www.ipmu.jp/ press@ipmu.jp

Chief Editor Kenzo Nakamura

Production Cooperation Matsueda Printing Inc.